

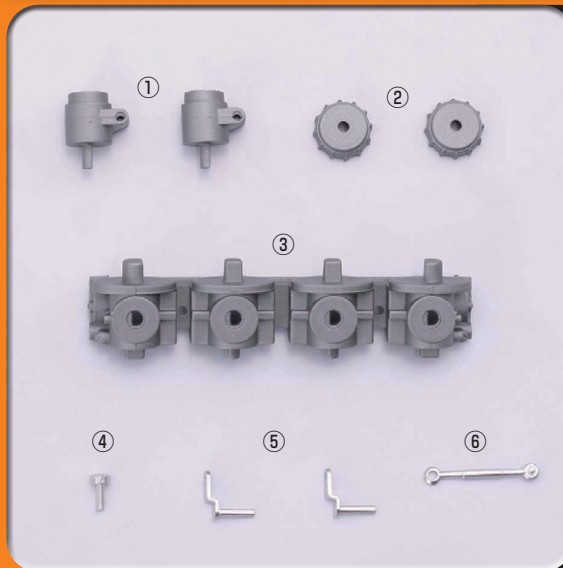
今号の作業

キャブレターを組み立てる②



今号では、キャブレターの本体部分となるスロットルボディを組み立てる。模型として組み立てやすくするため上下にパーツを分割しているが、完成後の仕上がりは実車4連キャブの雰囲気十二分に堪能できるはずだ。

今号のパーツ



- ①スロットルボディA×2
- ②トップキャップ×2
- ③スロットルボディB×1
- ④スロットルストップスクリュー×1
- ⑤チョークレバーA×2
- ⑥チョークロッドA×1

※⑤と⑥は今回使用しないので、ビニール袋に入れて大切に保管しよう。

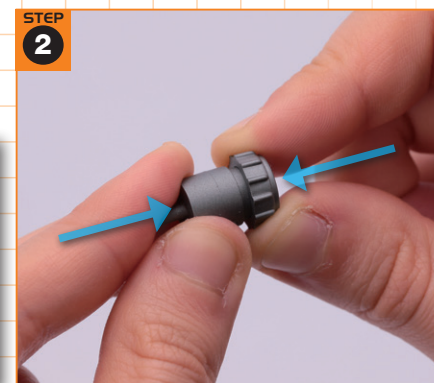
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

用意するもの

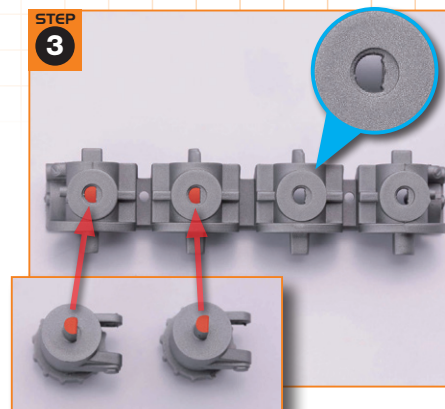
・11号で組み立てた
フロントチャンバー



STEP 1
①スロットルボディAに、②トップキャップをかぶせる。スロットルボディAの内側には“数字”が刻印されているが、これは製造管理上のものなので気にする必要はない。



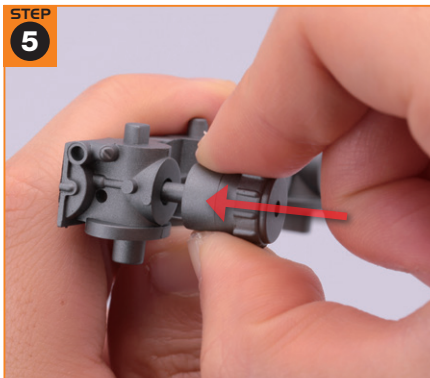
STEP 2
スロットルボディAにトップキャップをかぶせたら、奥まで真っすぐに押し込む。パーツが斜めに傾いていると差し込みが固くなってしまうので、必ず真っすぐに押し込もう。



STEP 3
2個のスロットルボディAを組み立てたら、③スロットルボディBを用意して、取り付け位置を確認する。今回取り付けるのは、写真で示した2カ所だ。



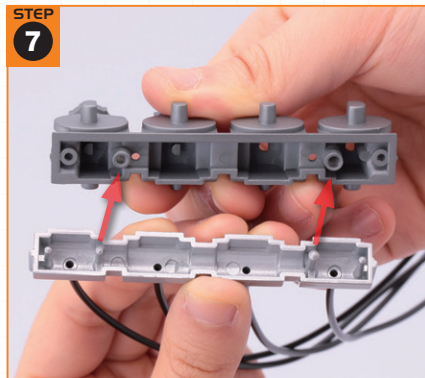
STEP 4
スロットルボディBの穴に、スロットルボディAの取り付けピンの向きを合わせる。穴とピンがみ合うようになっているので、向きが違っていると差し込めない。



ピンを折らないよう、スロットルボディAを真っすくに差し込む。しっかりと奥まで差し込む。



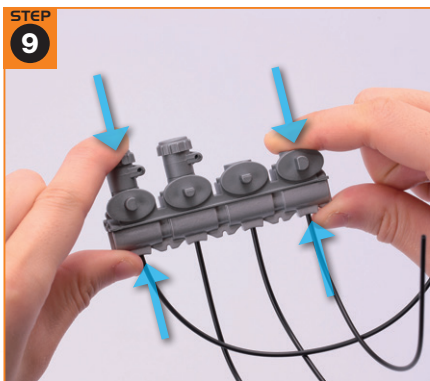
続いて、もう一個のスロットルボディAも取り付け。奥まで差し込まないと、スロットルボディAの高さがそろわないので注意しよう。



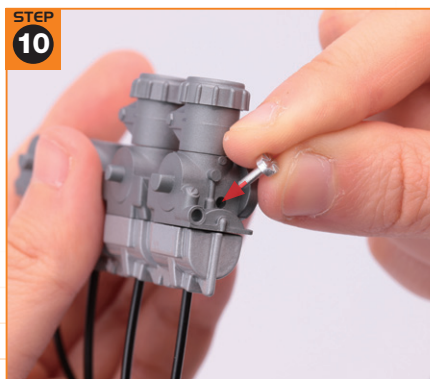
前号で組み立てたフロートチャンバーを用意し、スロットルボディB内側にある穴に、取り付けピンを合わせる。細いピンと小さい穴、太いピンと大きい穴をそれぞれ合わせる。



スロットルボディBをフロートチャンバーに差し込む。このとき、スロットルボディBとフロートチャンバーの接合面が平行になるように保持し、少しずつ差し込んでいく。



ある程度まで差し込めたら、写真のように両手の指先でスロットルボディBとフロートチャンバーを持ち、力を加えて奥まで差し込む。



スロットルボディBの側面(スロットルボディAの真下)にある穴に、④スロットルストップスクリューを差し込む。スロットルボディBの側面には、端にも穴が設けられているので間違えないように注意しよう。



スロットルストップスクリューを差し込んでいくと、スロットルボディBの段差部分に当たるので、そこまで差し込めばOKだ。



これで今号の作業は完了だ。使用しなかったパーツは号数を記入したビニール袋に入れて、次の作業まで大切に保管しておこう。